

發行所 福島縣石城郡平町字長橋町廿五番地
印刷所 常磐毎日新聞社

常磐新聞

定価 一月五元 三月十三元 半年二十五元 一年五十元
廣告 一行一日一元 二行一日二元 三行一日三元 四行一日四元 五行一日五元
印刷料 一行一日一元 二行一日二元 三行一日三元 四行一日四元 五行一日五元

發行所 福島縣石城郡平町字長橋町廿五番地
印刷所 常磐毎日新聞社

刊夕日九月八

常磐文藝

釣

飯村 関舟

げにや思ひぬ亭樂の
竿に輕葉の舞ひ踊る
笹葉の舟の感極み
與ぞ百出いろごれる
青緑の面見つめれば
小波漂ふ尖端の
浮身印の眩惑さ
慾念断えずいろくこ
竿の元根に手を觸れて
引上ぐ見ゆば餌のされて
狐狸の編りし如くゆに
嘆息吐きぬ真晝ごき
纏綿なりし背の堤は
青草連り近々は
森閑たりて我慾なく
心情は一綴竿頭の
浮木に注ぐ釣目ごき。

安價 女給募集
洋食は 向上軒
迅速 平町車場新道通り
(電話五二三番)

しるはてん
印神天
弊舗の萬言よりも
華客の一言にあり
手拭・風呂敷
消防被服
刺子類一切
柏屋染物店
柏傳刺子部
平町材木町

是非

を物履な品上で粹
は際のめ求御
(番六五一話電) 日丁二町平
店ノモギハ井三

中元贈答品
の御用命は
是非和久井屋へ
廉屏風は原價にて
提供致します
是非お越下さい
平町一丁目
和久井屋
電話四〇五番

高久病院
平町四丁目(電話五二三番)

赤心堂病院
平町四丁目(電話四七五番)

松村病院
平町南町(電話一〇七番)

内科・外科・婦人科
デアテルミー光線科
花柳病科・胃腸病科

内科・外科・耳鼻
咽喉科・花柳病科

内科・外科・花柳病科
耳鼻咽喉科・婦人科

農村の生活に 元が多い

寄書 NY人

農村救済の叫び喧しい折柄昔からの習慣に捉はれて都會地のそれよりも總ての點に無理の多い農村の生活改善をなすべく目下その改善資料の蒐集中で文部内務兩省を初め各府縣に於ても協力之れが調査に着手してゐる由であるが農村疲弊といふことは從來農村自身の生活が古來からの固習に墮して都會地よりも元が多い生活に慣てゐることが大きな原因をなしてゐるのである

農村救済の論議せらるゝ折柄これが改善は焦眉の急であるから改善の餘地なしと農村の人々には云つてゐるが實際は馬鹿氣たることには金費してゐるのだそれは都會地よりも舊慣を尊び關係から従つて弊害も多い譯で例へば婚姻に關する事項でも嫁入りから披露宴出産祝節句祝等時間使用の不經濟はもとより少からぬ金品を費すその外年中行事にしても馬鹿氣たお祭り騒ぎをするなど想像外の事が多い二度も嫁入させるご身代限りとなる實例はいくらもある殊にあの不衛生極まる

住宅の改善は急務中の急務で中には家畜と起居を共にしてゐるものもあるのだから驚く多くの農民中には固習打破をしたくも地方特有の制裁といふことに災され出来ずに苦しんでゐる向きもある様に總ての生活改善か田舎では仲々の難事である兎に角農村生活をもつさうるほひあるものとして徒らに謹慎質素のみをふき込ますにその向上を計る農村の自覺を計らなければならぬ。

大賣出 正札の一割引

中元の御贈答品を正札の一割引で大賣出し開始しました是非御用向の程を願ひます

鹽屋の商品券(贈るに便利)受けて重寶

平町土橋
舍 鹽屋吳服店
電話二二二番

母よ!

愛兒のために

メリミルク

御設備下さい

文化生活の強敵なる
恐るべき蠅の撲滅の爲に
驚くべし一匹のハイは、百參拾萬の細菌を保有して居るさうです

蚊とり兼用器
特賣のハイトリツク 金四圓五拾錢
平町五丁目(電話九番、一三九番)
和洋銅鐵
金物問屋
釜屋商店

東京東九の内 東京菓子會社
特約店 ヤトモツマ

株式買中値

左記の値段は本日の標準値に付御用の節は御問合願候

銘格	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五三五
平銀行	五〇〇	七一〇
磐城銀行	一一五	一〇五
磐城銀行	五〇〇	四三〇
磐城銀行	三〇〇	二九〇
田村銀行	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二四五
同新	一五〇	一八八
同新	五〇〇	五五〇
同新	一一五	一六〇
同新	一一五	九八
同新	五〇〇	三七〇
只見川電	一一五	一七〇
植田水電	一一五	一五五
好問水電	一一五	一三〇
磐城建物	一一五	五〇
磐城製菓	二〇〇	四〇
平信託	五〇〇	二五〇
磐城勸業	一一五	一三五
植田物産	三〇〇	二六〇
平製水	二五〇	二三〇
好問軌道	五〇〇	三三〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二五〇	六〇
磐城炭礦	五〇〇	四一〇
同新	二二五	一八〇
磐城メント	五〇〇	六四五
同新	二五〇	三四五
平運送	一一五	八〇

平町田町 電話三三二番
丸登株式会社
川添房二郎

農村の經濟狀態

豫想よりは幾分緩和

商家の回收も案外良し

神谷平銀主事語る

舊盆を目のあたりに控へた農村の經濟狀態は最初より豫想よりは幾分緩和され...

小名濱に愈々無電を

機械は最も精巧な

六千八百圓の眞空管式

石城郡小名濱無線電信發受信所は愈々設置される事となり...

寫眞展覽會

光影會主催で

既報平光影會にては十四五六の三日間平陽女學校にて寫眞展覽會を催す由である...

郡南の益市

非常な殷賑

石城郡々方面益市は近時殆んど忘れられてあるが山手...

常警片々

磐崎村の村長や助役、オマケに消防幹部迄が放牧地問題で氣を揉んだ揚句總辭職...

神職講習會

五日間に亘る

石城郡神職會にては十八日より五日間郡議事堂にて講習會を開く由

豐作疑ひなし

立秋に際して

郡技手が語る

今日も亦雨ではないかと思つたらからりと晴れて雨の心配もなくつた昨日の立秋は申し分のない天候である...

磐崎消防幹部總辭職

放牧地問題延引の爲め

村長助役と行動を共に

石城郡磐崎村放牧地問題に關しては屢報の如く解決延引と共に人心は焦燥の結果...

鐵北俱樂部

庭球團を組織

平町鐵道以北居住の青年團員卅餘名は此程鐵北俱樂部なる庭球團を組織し各地の庭球チームと應戰する筈...

面魂に

餘罪の詮議

平町坂本春吉養子吉田信好

カティラン

薄物折伏の秘訣

すべて夏物は裏がありませんから、縫込は必ず折伏せしめて耳をかくとねばなりません...

彦三郎の一座

平町聚樂館にては近頃東京名題歌舞伎市村座附坂東彦三郎の一座に依つて華々しく開演すべく目下交渉中である

不平受付

投書歡迎

水道史を見たい 平町に於ける發電所問題が一段落を告げる事が出来たのは町當局及び町民諸君協力一致の賜と思はれるのですが...

病に罹り易いのです 六、總べての生物は病菌附着的塵埃がありますから必ず煮殺して飲食するのが安全です...

平町衛生注意

印刷物を配附

平町に於ける現在の傳染病患者は赤痢二、チブス二の合計四名にして本年度に入

つて最も多かりし十名より半減した好成绩であるが町役場にては此の程左の如く夏期衛生に關する注意書を印刷し一般に配附した

一、傳染病の内夏季に多く流行するのは腸チブス赤痢パラチブス、コレラ、ペストの類です

九、蠅は種々の傳染病菌を肢光又は觸翼に附着し媒介するから飲食物に接觸させぬ様にし且つ驅除するのが第一です